



Extensis[®]
SuitcaseFusion[™]4

クイックリファレンス

Suitcase Fusion 4を起動する

Macintosh

アプリケーションフォルダを開きSuitcase Fusion 4アイコンをダブルクリックします。

頻繁にSuitcase Fusionを利用する場合には、アプリケーションをDockにドラッグします。



Windows

スタートボタンをクリックして、すべてのプログラムから、Extensis内のSuitcase Fusion 4をクリックします。

頻繁にSuitcase Fusionを利用する場合には、タスクバーやスタートメニューにアイコンを入れておきます。



Tip: オートアクティベーションを使って、フォントの使用可能/不可を実行したり、フォントを使用可能にしておくためにSuitcase Fusionを常に起動しておく必要はありません。システム起動時に実行されるFont Management Coreソフトウェアが、フォントのオンオフをバックグラウンドで実行します。

フォントを使用可能にする

コンピュータを再起動するまでフォントを一時的に使用可能、または再起動後も使用可能にすることができます。

フォント単体、または複数フォント、ファミリー、セットなど、フォントパネル内のフォントをどのように選択していても、使用可能にするアクションは機能します。またライブラリパネル内の1つのライブラリ内の単体のセット、複数のセットでも同様です。

選択したフォントを使用可能にするにはいくつかの方法があります。

ツールバーのアクティベーションボタンを使う



ツールバーにある、再起動後も使用可能、または一時フォントボタンをクリックする。

フォントリスト内のアクティベーションコラムを使う

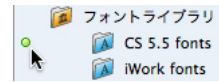


使用可能コラムをクリックするとフォントが一時的に使用可能になります。

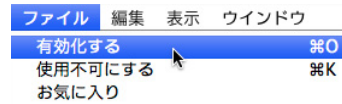
使用可能コラムを使って使用可能にする場合は、事前にフォントを選択しておく必要はありません。

Macでは、Optionキーを押しながらコラムをクリックすると、再起動後も使用可能にすることができます。

Tip: ライブラリパネル内の一番左をクリックすると、セット内のフォントをすべて使用可能にできます。何の印もありませんが、クリックするとフォントを一時的に使用可能にできます(この方法ではライブラリをアクティベートすることはできません)。Macでは、Optionキーを押しながらクリックするとセットを再起動後も使用可能にすることができます。



フォントメニューを使う



選択したフォントを一時的に使用可能にするには、**ファイル > 有効化する**を選択します。

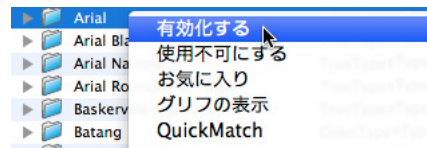
Macでは、Optionキーを押しながら**ファイル > 再起動後も使用可能**を選択すると、選択したフォントを再起動後も使用可能にできます。

キーボードショートカットを使う

選択したフォントを一時的に使用可能にするには、Command-O (Mac)、またはCtrl-O (Windows)を押します。

選択したフォントを再起動後も使用可能にするには、Command-Option-O (Mac)、またはCtrl-Shift-O (Windows)を押します。

ショートカットメニューを使う



フォントパネル内でフォント、またはライブラリパネルからセットを選択します。選択したフォントを右クリックして、ショートカットメニューから**有効化する**を選択します。これによって選択したフォントは一時的に使用可能になります。

Macでは、Optionキーを押しながら、メニューから**有効化する**を選択すると、選択したフォントは再起動後も使用可能になります。

使用可能な状態

フォントパネル内の使用可能コラムでフォントの状態を確認できます：

● 緑色のドットが付いたフォントまたはファミリーやセット内のフォントは、システム再起動後も使用可能です。

● 青いドットが付いたフォントまたはファミリーやセット内のフォントは、現在起動しているシステム上でのみ使用可能です。

● 青いドットに青い囲みが付いたフォントは、一時的に追加され使用可能になっているフォントです(これらのフォントは、Font Vault内ではなく、コンピュータシステムや、Font Management Coreを再起動するとSuitcase Fusionから削除されます)。

○ 白いドットが付いたファミリーやセットは、異なる状態のフォントが含まれています。各フォントの状態を見るには、セットを選択するか、フォルダアイコンについている三角形をクリックして開きます。

使用可能コラムにドットが無いフォントは使用停止中です。またはファミリーやセット内に使用可能フォントがありません。

フォントを使用停止にする

フォントを使用可能にするのと同様に、使用停止することができます。

ツールバーの使用不可にするボタンをクリックします。

- ・ フォントリストやライブラリパネル内の使用可能コラムをクリックします。
- ・ メニューから**ファイル > 使用不可にする**を選択します。
- ・ Command-K (Mac) または Ctrl-K (Windows) を押します。
- ・ フォント、ファミリー、セットを右クリックして、ショートカットメニューから**使用不可にする**を選択します。

○ マークが付いているファミリーやセットの使用可能コラムをクリックすると、そのファミリーやセット内のすべてのフォントが一時的に使用可能になります。ファミリーやセットを使用停止にするには再びクリックします。

注意: すべてのライブラリからフォントを削除すると、Font Vaultからもフォントが削除されます。オリジナルのフォントファイルがバックアップされていることを確認してください。

フォントの追加

Suitcase Fusion 4の初期設定では追加したフォントをFont Vaultと呼ばれる安全な場所にコピーします。Font Vaultを使うと、Suitcase Fusionは不要なフォントの重複を避けたり、フォントの追加や削除をより簡単に行うことができます。

Suitcase Fusionでは、全部のフォントまたは一部のフォントをFont Vault以外の場所に置いておくようにすることもできます。

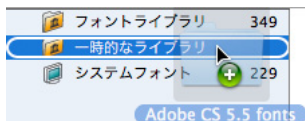
Suitcase Fusionにフォントを追加する前に、どのようにフォントを管理するかを決める必要があります。**Suitcase Fusion 4 > 環境設定 (Mac)**、または、**編集 > 環境設定 (Windows)**メニューで環境設定ダイアログを開き、Vaultオプションを選択します。

Tip: どちらの設定を使ったら良いかわからない場合は、初期設定値の「追加したフォントをFont Vaultにコピーする」を使用することをお勧めします。フォントはVaultにコピーされ、オリジナルのフォントファイルは元位置に残ります。Vaultは保護された階層下にあり、誤って移動や削除してしまう危険を回避できます。Suitcase FusionはVault内のフォントをチェックして、安全に仕事ができるようにします。

フォントを追加するには、フォントファイルやフォントが含まれるフォルダやメディアを、Mac FinderまたはWindows Explorerからフォントパネルにドラッグします。**ファイル > フォントを追加**メニューを使ってフォルダやフォントを指定して追加することもできます。

セットとしてフォントを追加する

フォントフォルダをフォントパネルではなく、ライブラリにドラッグすると、Suitcase Fusionはフォルダと同名のセットを作成し、フォルダ内に含まれているフォントをすべてセットとして追加します。



一時的にフォントを追加する

クライアントのフォントを使って急ぎの仕事をする時など、短期間だけフォントを使いたい場合には一時的にフォントを追加する機能が便利です。

一時フォントはFont Vaultには追加されず、同じ名前のアクティブフォントより優先されます。コンピュータを再起動するまで、または Font Management Coreが停止するまでの間、使用できます。

フォントを一時的に追加してすぐに使用可能にするには、**ファイル > 一時フォントを追加**を選択し、追加したいフォントやフォルダを選択します。

Commandキー (Mac) または Controlキー (Windows) を押しながらフォントをライブラリにドラッグしても一時フォントとして追加できます。

Macでは、アプリケーションフォルダ内またはDock内のSuitcase Fusion 4アイコンにフォントをドラッグしても追加できます。この操作を行うと、起動していない場合はSuitcase Fusionが起動して、フォントを一時的に追加します。




フォントの削除

フォントを削除するには、左側のライブラリを選択して、削除したいフォントをフォントパネルから選択してから、**編集 > 削除**を選択します。

フォントのプレビュー

フォントパネルで選択したフォントやファミリーのプレビューがプレビューパネルに表示されます。


プレビュータイプメニューからプレビューの種類を選択できます。上の4つはテキストプレビューで、以下で説明しています。ウェブプレビューについては6ページをお読みください。

表示されるテキストを変更するには、プレビューテキストの編集ボタン  をクリックして、プレビューテキスト編集フィールドを表示します。複数サイズやQuickTypeプレビューでは自由なテキストを入力したり、編集フィールドの右にあるポップアップメニューからプレビューテキストを選択することができます。

表示するテキストサイズを変更するには、スライダを動かす、サイズを入力する、もしくはポップアップメニューからサイズを選択します。




複数サイズプレビューでは、選択したサイズ/33%小さく/50%大きく、の3つのサイズが表示されます。

テキストカラー、背景カラーのボタンをクリックすると、プレビューパネルの色を変更できます (元に戻すボタン  をクリックすると、白い背景と黒い文字に戻ります)。


ファイルメニュー > プレビューパネルを印刷 (Mac) または **プレビューの印刷 (Win)** を選択すると、プレビューパネルを印刷できます。

Tip: フォントサンプルブックを作成するには、複数のフォントを選択してから印刷します。

フローティングプレビュー

フローティングプレビューアイコン  をクリック&ドラッグすると、プレビューに表示されている内容が、フローティングプレビューとして表示されます。フローティングプレビューは、閉じるまではすべてのアプリケーションの最上位に表示されます。フォントをアクティブにしなくても、レイアウトや他のアプリケーション上で見た目を確認することができます。プレビューテキストやサイズを変更すると、フローティングプレビューの内容も変更されます。

フォントスナップショット

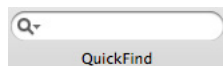
表示されているプレビューのフォントスナップショットアイコン  をデスクトップにクリック&ドラッグすると、プレビューがPNG画像ファイルとして作成されます。スナップショットは、選択したプレビューテキスト、サイズ、色が反映されます。


フォントを検索する

フォントパネルには、ライブラリや選択したセット内のすべてのフォントが表示されます。選択したライブラリやセット内で特定のフォントを探す方法がいくつか用意されています。

クイック検索

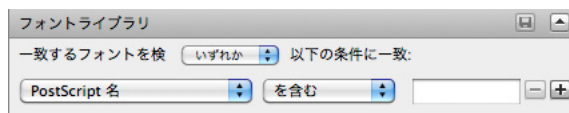
QuickFindフィールドに、フォント名やファミリー名最初の数文字を入力します。QuickFindフィールドに入力された条件を含むフォントがフォントパネルに表示されます。



Tip: QuickFindフィールドの虫めがねツールを  をクリックすると、すでにQuickFindで検索した条件から選択できます。

条件で検索

編集 > フォントを検索を選択すると検索パネルを表示できます。



複数の組み合わせの検索条件でフォントを検索できます。また検索条件はスマートセットとして保存することができます。

フォントの検索が完了したら、右上の矢印をクリックすると検索パネルを非表示にできます。

クイックマッチ: 見た目の似ているフォントを探す

ライブラリやセット内のフォントを選択して、**編集 > クイックマッチ**を選択します。Suitcase Fusionは選択したフォントと似たようなタイプフェイスを持つフォントをプレビュー表示します。合致する条件を調整したり、他の合致条件を特定することで見つかるフォントを増減することができます。

Tip: 他のライブラリ内 (WebINKライブラリなど) のフォントと似たフォントをライブラリ内から探す場合は、最初にフォントがあるライブラリ内でクイックマッチを実行します。次に他のライブラリをクリックします。クイックマッチはオリジナルフォントを使って、2番目のライブラリ内のフォントと比較します。

フォントをセットで使う

セットを使ってフォントをグループ化すると便利です。プロジェクトやクライアント、イベントに合わせてフォントセットを作成することができます。フォントライブラリ内でセットを作成できます (WebINKライブラリを除く)。

フォントライブラリ	349
CS 5.5 fonts	106
カウボーイのフォント	10

セットを作成するには、新規セットボタンをクリックします。



セット名を変更するには名前をダブルクリックします。

セットにフォントを追加するには、フォントパネルからセットにフォントをドラッグします。

ライブラリを選択してから、フォントパネルからセットへフォントをドラッグすると、フォントはセット内にも表示され、ライブラリからは消えません。セットを選択してから、フォントパネルから他のセットへドラッグすると、フォントは元のセットから消えます (移動)。

セット間でフォントをコピーする場合は、Optionキー (Mac) またはAltキー (Windows) を押しながらセットからセットへフォントをドラッグします。

他のライブラリにセットをコピーする場合は、新しいライブラリにドラッグします。新しいライブラリ内に無いフォントはすべてコピーされます。


セットからフォントを削除する場合は、セットを選択してセット内のフォントを選択し、Deleteキー (Mac) またはDelキー (Windows) を押します (フォントはライブラリ内に残ります)。

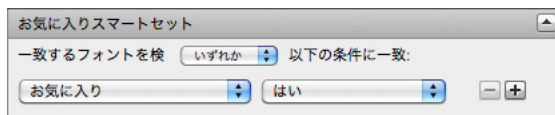
Tip: Macintoshの拡張キーボードには、2つの「Delete」キーがあります。1つはメインのキー配列内の数字と同じ列にあります (「backspace」)。もう1つは、カーソルキーのそばにあります。フォントやセットを削除するには、キーボードのメインにある「backspace delete」キーを押してください。

セットを削除するには、セットを選択してからDelete (Mac) またはDel (Windows) を押します。

他のセット内にセットを入れるには、入れたいセット内にドラッグします。

スマートセット

フォント検索機能を使用する時に、検索条件をスマートセットとして保存することができます。検索パネル内の  ボタンをクリックして、セット名を付けます。このセットを選択すると、保存された検索条件が実行され、検索条件にあったフォントが常に表示されるようになります。



アプリケーションセット

アプリケーションセットを作成すると、特定のアプリケーションを起動する際に一時的にフォントを使用可能にすることができます。


アプリケーションセットを作成するには、**ファイル > 新規アプリケーションセット**をメニューから選択して、アプリケーションを指定します。

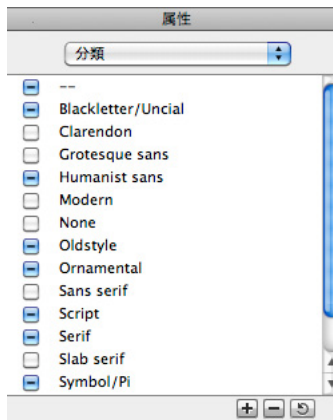
アプリケーションのアイコンをライブラリパネルにドラッグすることで、アプリケーションセットを作成できます。

フォント属性

属性パネルを使って、スタイルや製造元など、フォントに付加されている属性を変更することができます。


フォント属性を変更しても、フォントファイル自体は変更されません。

属性パネルを表示するには、Suitcase Fusionウィンドウの左下にある  ボタンをクリックします。





フォントの属性を編集するには:

1. フォントを選択します。
2. ポップアップメニューの**分類**からカテゴリを選択します。
3. フォントに適用したい属性値のチェックボックスにチェックを入れます。キーワードとスタイルは複数のチェックを入れられます。

 ボタンをクリックしてフォントのデフォルト属性にリセットできます。

追加、名前の変更、削除が行えます。

- ・  ボタンをクリックして新規属性を追加
- ・ 名前をダブルクリックして編集
- ・ 属性を選択して  ボタンをクリックして削除

Tip: 表示メニュー内の列サブメニューを使って、フォントパネル内に属性値を表示させることもできます。

キーワード

キーワードは、フォントに適用する短い単語のことです。クライアントやプロジェクト名を付けたり、ランキングを付けることで、フォントの管理や検索に利用することができます。フォントには複数のキーワードが付けられます。

同じコンピュータ上で複数のユーザーが使用している場合(特にUniversal Type Serverのようなクライアント/サーバー型で利用する場合)などには、フォントの検索や管理をしようとした時に、キーワードの慎重な付け方が重要になってきます。

フォントにキーワードを付ける際には、以下の点を検討します:

- ・ Suitcase Fusionでは、フォントの種類や製造元などの属性で並べ替えや検索が行えます。そのためこれらの情報をキーワードとして追加する必要はありません。
- ・ いくつかキーワードを追加するかを考えます: ライブラリにフォントを追加する時、またはプロジェクトでフォントを使い始めるとき(もしくはその両方)
- ・ 複数形や略語の使用、カナと英文の違いなど、一定のルールを作ってキーワードを付けるようにします。
- ・ キーワードリストが常に活用できるよう、更新しておくようにします。

オートアクティベーション

Suitcase Fusion 4プラグインを利用すると、よく利用されるデザインアプリケーションである、Adobe Photoshop、Adobe InDesign、InCopy、Illustrator、QuarkXPress でドキュメントを開く際に自動的に正確なフォントを使用可能にします。

Suitcase Fusionプラグインのインストールとアンインストール:

1. **Suitcase Fusion 4 > プラグインを管理** (Mac) または **編集 > プラグインを管理** (Windows) を選択します。
2. アプリケーションを有効または無効にしてOKをクリックします。Suitcase Fusionが設定にあわせてプラグインをインストールまたは削除します。

プラグイン環境設定で選択しておくことによって、プラグインがインストールされたアプリケーションでドキュメントを開くと、フォントは使用可能になります。

各デザインアプリケーション内のSuitcase Fusionオートアクティベーション環境設定を開いて、プラグインの設定が行えます。

Adobe InDesign、InCopyとIllustratorでは**書式**メニュー内、Quarkアプリケーションでは**補助**メニュー内から開けます。Adobe Photoshopでは、**ファイル > 自動処理 > Extensis**からプラグインダイアログを開きます。プラグインでは以下の機能が提供されます:

ドキュメントのフォントのチェック:ドキュメント内で利用されているすべてのフォントをチェックします。

出力用フォントを収集:ドキュメント内で利用されているすべてのフォントを、任意の箇所にコピーします。

ドキュメントセットを作成:ドキュメント内で利用されているすべてのフォントのセットをSuitcase Fusion上に作成します。

Font Senseの働き

オートアクティベーションが正しく機能するのは、Suitcase Fusion 4が使用しているFont Senseテクノロジーがあるからです。この技術でライブラリ内の各フォントの識別を行っています。


Font SenseはPostScript名、カーニング値、バージョン番号などを含む多くのフォント属性の組み合わせで生成されます。


プラグインはFont Senseメタデータをドキュメント内に記録します。そのため、次回ドキュメントを開いた際に、細かい点まで正しいフォントを使用可能にすることができます。

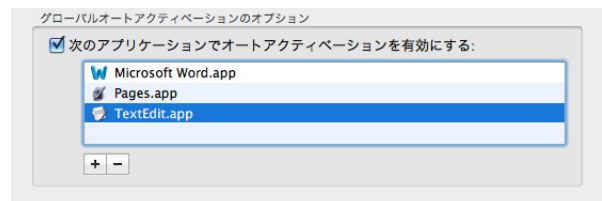
グローバルオートアクティベーション

Mac OS Xでは、個別のアプリケーションでグローバルフォントアクティベーション機能を利用できます。アプリケーション内でドキュメントを開く際に、Font Management Coreがドキュメント内に保存されているPostScript名を基にフォントを使用可能にします。

グローバルオートアクティベーションを有効にするアプリケーションを選択するには:

1. メニューから**Suitcase Fusion 4 > 環境設定**を選択します。
2. グローバルオートアクティベーションのセクションで  ボタンをクリックし、アプリケーションを選択します。

アプリケーションを削除するには、アプリケーション名を選択してから  ボタンをクリックします。



Tip: QuarkXPressやAdobe InCopy、InDesign、Illustrator、Photoshopはグローバルオートアクティベーションを使用しないで、専用のオートアクティベーションプラグインを使用してください。プラグインはFont Senseにより、ドキュメント内のフォント識別を行っており、他のアプリケーションよりさらに正しい情報を得ることができます。

Google Web Fonts

Suitcase Fusion 4では、Googleが提供している無料のオープンソースフォントとライブラリにアクセスすることができます。

Suitcase FusionでGoogle Web Fontsを有効にするには、**ファイル > Googleウェブフォントを有効にする**を選択します。Suitcase Fusion 4は利用可能なすべてのフォントをダウンロードします。Googleで新しいフォントが追加された場合は、自動的に自分のフォントコレクションに追加されます。

有効になると、Google Web FontsがSuitcase Fusion内で別のライブラリとして表示され、すべてのアプリケーションで使用することができます。

コンピュータ上にインストールされたフォントと同じように、Google Web Fontsを個別に使用可能にしたり使用不可にすることができます。

Google Web Fontsは、Adobe CS5、5.5、6のPhotoshop、InDesign、Illustrator内のExtensisフォントパネルからも利用できます。

WebINK

WebINKはウェブサイト上で高品質フォントを表示するためのフォントレンタルサービスです。WebINKをウェブサイト上で利用すると多くの利点があります (WebINKサービスは米国Extensis社が直接供給する英語のサービスになり、現在国内ではサポートしていません)。

Tip: Suitcase Fusion 4のウェブプレビュー機能とWebINKアカウントを使うと、ウェブサイトのモックアップ作成時に、WebINKフォントを無料で使用することができます。

- WebINK内には複数のブラウザに対応できるよう、様々なフォントフォーマットでフォントが用意されています。WebINKは閲覧者のブラウザ環境に合わせて最適なフォントフォーマットを配信します。
- Extensisでは、数多くの高品質フォントを提供できるよう、フォント開発社と契約を締結しているため、フォントのライセンスやセキュリティについて考える必要はありません。
- 閲覧者は特別の設定無しに、特定されたフォントでデザインされたサイトを閲覧することができます。
- 既存のサイトのスタイルシートを変更するだけでこのサービスを利用することができます。
- デベロッパモードであれば、WebINKを無料で試すことができます。

WebINKアカウントの作成と詳細についてはWebINK.comをご覧ください。

WebINKを使ってサイトをプレビューする

Suitcase Fusionのウェブプレビュー機能では、WebINK内の大量のフォントを使って、ウェブサイトのフォントを変更して試してみることができます。

- Suitcase Fusionのライブラリパネル内の、WebINKライブラリをクリックします。
- プレビュータイプドロップダウンメニューから、ウェブプレビューを選択します。
- ウェブプレビューのアドレスフィールドにウェブアドレスを入力するか、デフォルトのページで試してみることもできます。
- ページプレビュー内でクリックして、エレメントを選択します。
- フォントサムネイルを選択すると、選択したエレメントのフォントが置き換わります。

ウェブエレメントツールバーを利用して、ページ内のフォントのエリア指定したり、フォントの表示、変更したエレメントのハイライト表示などが行えます。

フォントが見つかり、サイトで利用したい場合は、そのサムネイルを自分のWebINKプロジェクトにドラッグします。

WebINK.comのサイトにあるツールを使ってウェブサイト用のCSSを生成します。

Extensisフォントパネル


Suitcase Fusion 4には、Adobe CS5、CS5.5、CS6用のExtensisフォントパネルが含まれています。このフォントパネルを使うと、Photoshop、Illustrator、InDesign内から直接、Suitcase FusionのフォントやGoogle Web fontsの選択やアクティベーションを行えます。



Adobe Photoshopでは、デザインカンパやクライアントの確認用に、フォントパネルを使ってWebINKフォントにもアクセスすることができます。

Extensisフォントパネルを使う際に、Suitcase Fusionアプリケーションを起動しておく必要はありません。Font Management Coreがこのパネルで操作したフォントアクティベーションを実行します。またこのパネルからWebINKへログインしたり、Google Web Fontsを利用可能にすることができます。


フォントパネルを開くには、Photoshop、Illustrator、InDesignの**ウィンドウ > エクステンション > Extensis**を選択します。

パネルの一番上にあるポップアップメニューを使って、使用したいフォントのソースを選択します: Suitcase Fusionフォント、システムフォント、Googleフォント、またはPhotoshop内のWebINKフォント等

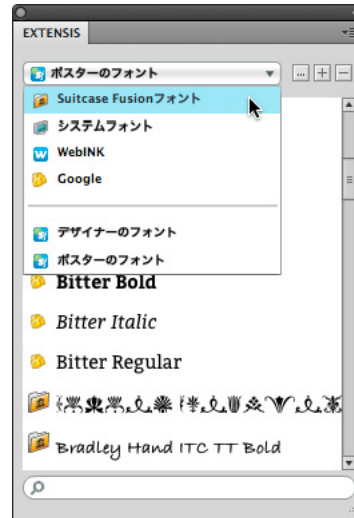
Photoshopのテキストレイヤー上でフォントを適用するには、移動ツールを選択して、テキストレイヤーを選択し、それから使用したいフォントをExtensisフォントパネル上でクリックします。

InDesignまたはIllustratorでフォントを適用したい場合は、テキストツールや選択ツールなどを使ってテキストを選択してからフォントパネル内のフォントをクリックします。

フォントパネルには、アクティベーションされているかどうかに関わらず、選択したグループ内で使用可能なフォントがすべて表示されます。もし特定のフォントを頻繁に使うようであれば、フォントダイジェストを作成しておくことで簡単に使用することができます。

フォントダイジェストを作成するには、フォントパネルの一番上にあるボタンをクリックします。

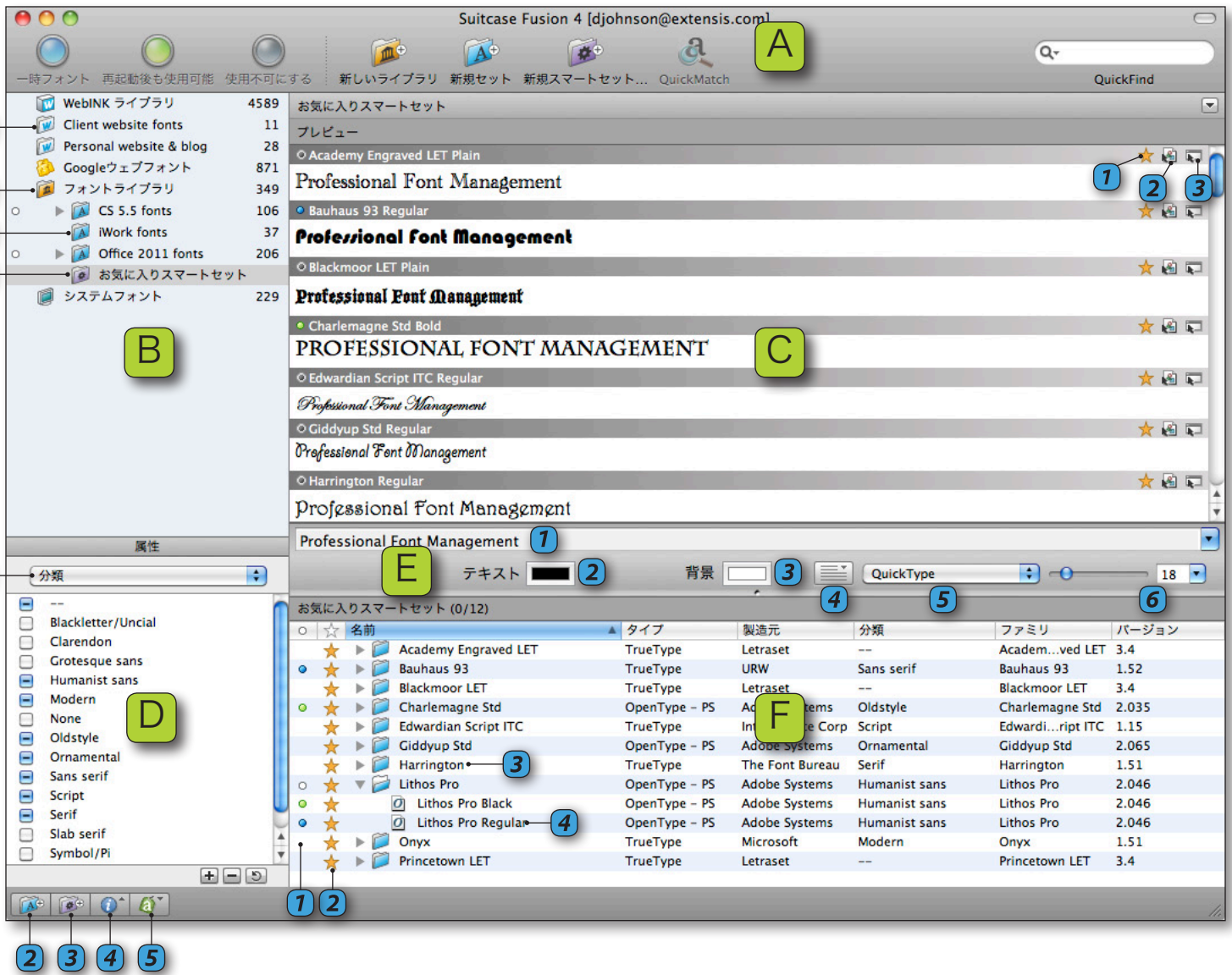
ひとつのダイジェストに、複数のソースからフォントを追加することができます。Suitcase Fusionフォントと、Google Web Fonts、システムフォントなどを混ぜて管理することができます。フォントダイジェストは、3つのAdobeのデザインアプリケーションすべてで使用できます。



Font Management Core

フォントを使用可能にするのにSuitcase Fusionアプリケーションを起動しておく必要はありません。Font Management Core と呼ばれるアプリケーションがバックグラウンドで起動しており、Suitcase Fusionが起動してなくてもフォントの使用可能/不可を実行します。

Suitcase Fusionのオートアクティベーションプラグインがインストールされていると、Adobe Photoshop、Adobe InDesign、InCopy、Illustrator、QuarkXPressのファイルを開く際に、Font Management Coreが環境に合わせて自動的にフォントを使用可能にします。このときにSuitcase Fusionアプリケーションを起動する必要はありません。もし不要であればSuitcase Fusion Core を停止することができます。



A ツールバー

B ライブラリパネル

- 1 WebINKプロジェクト
- 2 ライブラリ
- 3 セット
- 4 スマートセット

C プレビューパネル

- 1 お気に入り
- 2 フォントスナップショット
- 3 フローティングプレビュー

D 属性パネル

- 1 属性ポップアップメニュー
- 2 新規セットボタン
- 3 新規スマートセットボタン
- 4 フォント情報ボタン
- 5 属性ボタン

E プレビューツール

- 1 プレビューテキストの編集
- 2 プレビューテキストカラー
- 3 プレビュー背景カラー
- 4 プレビュー設定を表示/隠す
- 5 プレビューの種類ポップアップメニュー
- 6 プレビューのフォントサイズ

F フォントパネル

- 1 使用可能
- 2 お気に入り
- 3 ファミリ
- 4 フォント

キーボードショートカット

Mac OS X

Suitcase Fusion 4

環境設定
Suitcase Fusion 4 を終了

ファイル

有効にする
再起動後も使用可能¹
使用不可にする
新しいライブラリ
新規セット
新規スマートセット
フォントをライブラリに追加 | フォントをセットに追加²
一時フォントを追加
Finderに表示
出力用フォントを収集
ページ設定
プレビューパネルを印刷

⌘,
⌘Q

⌘O
⌘⇧O
⌘K
⌘B
⌘N
⌘⇧N
⌘L
⌘⇧L
⌘R
⌘D
⌘⇧P
⌘P

編集

ライブラリを削除 | セットを削除 | セットから削除³
ライブラリから削除⁴
一時フォントをすべて削除
すべてを選択¹
すべての選択解除
フォントを検索
消失フォントの検索
QuickMatch
特殊文字

⌘⌘
⌘⇧⌘
⌘;
⌘A
⌘⇧A
⌘F
⌘⇧F
⌘⇧K
⌘⇧T

表示

ファミリーによるフォントのグループ化
情報を表示 | 情報を隠す⁵
属性を表示 | 属性を隠す⁵
プレビュー設定を表示 | プレビュー設定を隠す⁵

⌘E
⌘I
⌘J
⌘[

ウィンドウ

アクティビティビューア
メインウィンドウ
グリフの表示
フロートプレビュー > すべてを表示
フロートプレビュー > すべて閉じる
フロートプレビュー > マージする
フロートプレビュー > 次へ
フロートプレビュー > 前へ

⌘O
⌘1
⌘2
⌘⇧P
⌘⇧W
⌘⇧M
⌘⇧[
⌘⇧]

⌘ Command ⇧ Shift ⇧ Option ⌘ Delete

- Optionキーを押すと表示されます。
- ライブラリかセットのどちらを選択しているかにより異なります。
- ライブラリ、セット、フォントのどれが選択されているかにより異なります。
- セットまたはフォントが選択された状態でOptionキーを押すと表示されます。
- 状況により異なります。

Windows

任意のメニューにないコマンド

再起動後も使用可能
ライブラリから削除¹

Ctrl+Alt+O
Shift+Del

ファイル

有効化する
使用不可にする
新しいライブラリ
新規セット
新規スマートセット
フォント追加
一時フォントを追加
出力用フォントを収集
ページ設定
プリント
終了

Ctrl+O
Ctrl+K
Ctrl+B
Ctrl+N
Alt+N
Ctrl+L
Ctrl+Shift+L
Ctrl+D
Ctrl+Shift+P
Ctrl+P
Alt+F4

編集

ライブラリを削除 | セットを削除 | 削除²
すべてを選択
すべてを選択解除
フォントを検索
QuickMatch
消失フォントの検索
特殊文字

Del
Ctrl+A
Alt+A
Ctrl+F
Ctrl+Shift+K
Ctrl+Shift+F
Alt+T

表示

ファミリーによるフォントのグループ化

Ctrl+E

ウィンドウ

アクティビティビューア
グリフの表示
フロートプレビュー > すべてを表示
フロートプレビュー > すべて閉じる
フロートプレビュー > マージする
フロートプレビュー > 次へ
フロートプレビュー > 前へ

Ctrl+O
Ctrl+2
Ctrl+Shift+S
Ctrl+Shift+X
Ctrl+Shift+M
Ctrl+Shift+N
Alt+Shift+N

- セット、またはフォントが選択されている場合のみ利用可能
- ライブラリ、セット、フォントのどれが選択されているかにより異なります。

North America: 1.800.796.9798
Europe: +44 (0) 1604 654 270

extensis.com

